

魚介類畜養施設が

スカイ

(株)澄海により再出発

9月定例会の概要

9月定例会（令和5年9月6日から9月22日まで17日間開催）では、影治町長から「町政の動きの報告」があり、認定2件、報告4件、指定管理者変更1件、補正予算7件、人事1件、契約2件が提案された。ここでは、特に注目する事業を掲載します。



志和岐魚介類畜養施設

美波eスポーツクラブ誕生

企業版ふるさと応援寄付金（株）サイドウェブ、500万円）で、日和佐公民館の一部を改修してパソコン5台を設置、町内在住の中高生を対象に受講生を募集する。受講内容は、「ITスキル学習」で情報通信技術の知識や技術を学び、資格（P検3級合格）習得を目指す。

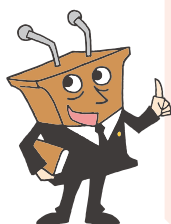
「eスポーツ」は、5人チーム制の戦略ゲームプレイを通して戦略的思考やチームワーク、コミュニケーション能力の向上を図る。



企業版ふるさと納税 （応援寄付金）

国が認定した地方公共団体の地方創生事業に対し企業が寄付をおこなった場合に、最大で寄付額の9割が軽減される仕組み。

今回、eスポーツ普及のために寄付を受けた。



美波町立西由岐公民館改修

西由岐公民館改修工事を1164万円で行うことと契約。工事内容は、クラック、爆裂の補修や外壁塗装、階段照明器具の設置等。



株式会社 澄海は、水産物の養殖及び加工販売等を目的に、令和5年8月に美波町において設立された会社で美波町恵比須浜字田井に本店を置く。代表取締役は谷口 毅氏(写真右)。取締役は濱 隆博氏(写真左)。



志和岐地区に在る魚介類畜養施設の指定管理者を、由岐漁業協同組合(寺口英治組合長)から株式会社澄海(谷口毅取締役)に変更し、施設を未利用魚などの加工場として活用することで、藻場の再生や雇用の創出、地域経済の活性化を目指す。
 ※収益事業(商品販売)の観点から指定管理料は支払わない。

原油価格や物価高騰などにより厳しい事業環境にある小規模町内事業者の支援並びに住民の個人消費の喚起を目的に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(3100万円)でプレミアム商品券を発行。

プレミアム商品券 発行で消費喚起



使用期間は令和6年1月31日まで。
お忘れなく！



●過去の公民館改修実績

年度	主な工事名	金額(総金額)
令和4年度	赤松公民館屋根改修(他5件)	599万円(691万円)
令和3年度	木岐白浜公民館屋根改修等(他9件)	648万円(3107万円)
令和2年度	志和岐公民館トイレ改修等(他6件)	156万円(562万円)
令和元年度	西由岐公民館シャッター取付等(他1件)	197万円(229万円)